

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 29年 7月 31日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都江東区木場二丁目18番11号		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 大丸松坂屋百貨店 代表取締役社長 好本達也
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	株式会社 大丸松坂屋百貨店	
導入年月日	平成15年 2月 27日	
認証番号	JUSE-EG-100	
基本方針	私たちが大丸松坂屋百貨店は、かけがいのない地球環境を次世代へ残していくための自らの役割と責任を認識し、お客様・お取引先様・地球の皆様と共に“持続可能な社会の実現”に向けた「環境にやさしい企業経営」を積極的に推進します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進 エネルギー使用量（原油換算k l）原単位 14.9%減 対2013年度 ・包装材の使用量削減 使用量（t）原単位 約11.25%減 対2013年度 ・廃棄物処分量削減 廃棄物処分量（k g）原単位 22.8%削減 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進 エネルギー使用量の把握、進捗状況による課題分析と対策の実施、日本百貨店協会と連携した省エネ施策の実施 ・包装材の使用量削減 使用量の把握、メンバーへの包装資材使用量の周知。エコバックの使用の啓発実施。 ・食品リサイクル率の向上 廃棄物発生量と処分量の把握 	
目標を達成するための取組の進捗状況	目標を達成するために上記取組みを実施中。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量（原油換算k l 原単位） 約15%減 ・包装材 使用量（t）原単位 約15%減 対2013年度 ・廃棄物処分量（k g）原単位 約27%削減 ※順調に推移。年度目標を達成。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回確認を行っている。 これまで違反及び行政当局から指摘はございません。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについて、原則として1年1回検討している。 <ul style="list-style-type: none"> ・行政、地域と連携しまちの魅力化、店の賑わいにつながる取り組みを推進すること。 ・京都という地域をもつ資源を有効活用したCSRの取り組みの推進。 	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。